

令和7年度 大岡地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

地域住民のつながりの希薄化、地域活動への参加機会の不足、認知症の理解や介護予防、成年後見制度の周知や高齢者虐待防止などの権利擁護に関する情報不足、日常生活課題の早期発見の難しさが課題として顕在化している。これらの課題に対応するため、住民がいきいきと活躍できる場の創出を推進し、ボランティア活動の受け入れ拡充や登録団体との協働を通じて、多様な地域活動を展開する。また、認知症予防や介護予防の普及啓発を強化し、出張相談や講座を通じて住民の理解を深めるとともに、ケアマネジャー等の専門職との連携を強化する。さらに、民生委員や地域ケア会議を通じた意見交換を継続し、地域の見守り活動やランチ設置の検討を進めることで、住民の生活課題の早期発見・解決を図る。

生活支援体制の整備では、協議体を活用し、世代を超えた意見交換を行いながら、地域活動の継続性を高める。また、企業やNPO等と連携し、高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	井土ヶ谷エリアにおける3か所の出張相談を通して潜在するニーズの掘り起しを行っていく。また個別相談だけでなく、同日時に平行して実施しているサロン等も相談の場、個人や地域の課題を把握する場として活用していく。井土ヶ谷エリアは困難事例が多く、訪問が頻回化しやすいため、職員加配やランチ設置などのハード・ソフト両面でのセンター機能の強化を模索する。
☐	☒	若い世代では地域貢献活動やボランティア活動への希望者が一定数あり、受け手側の意識を変化させる取り組みが必要である。協議体を実施し、様々な世代の意見を織り交ぜながら関係性を深め、地域活動の持続可能性を高めていく。
☐	☒	地域福祉保健計画や地域ケア会議などの連携・協議の場を通して、地域の様々な関係者と「顔の見える関係」を築きながら、地域の課題等に取り組んでいく。 学校からの依頼を積極的に受入れ、サロン等を通じて交流の機会を作り、福祉教育への啓発や高齢者や障がい者、認知症への理解を促進していく。
☐	☒	認知症カフェなど地域にある資源を活用し、地域と認知症カフェ等がつながり、地域全体で認知症について理解が深まるように支援していく。 チームオレンジが開始となるため、地域と協力していきながら、事業を展開し、チームオレンジの概念等を普及していく。
☐	☒	地域のサロンや出張相談の場を活用し、認知症、成年後見制度、消費者被害、虐待防止に係る講座を開催するなど、広く周知、啓発に努めていく。区作成のDVDを活用していく。 個別相談の中で、虐待や判断能力の低下についての確に把握し、速やかに被虐待者の保護や成年後見制度の利用につなげるなど、適切な対応を行う。 介護者サロンの周知等を通じ、介護者支援につなげていく。介護者家族の相談時には、介護者支援のパンフレット等を配布する。
☐	☒	ケアマネジャー向けの研修は、あったかネット、区、地域包括支援センターの3者が企画段階から協働し、より実践的かつ効果的な研修会の開催となるよう取り組む。 ケアマネジャーと民生委員や地域団体等との交流会を開催し、お互いの活動内容を知り、協力関係が築けるよう支援する。
☐	☒	大家・管理会社等、孤独死を防ぎたいステークホルダーで連携して、課題が重篤化する前の、早期発見と早期介入への協働を模索する。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

令和7年度は、井土ヶ谷エリアを中心とした出張相談の充実や、多世代・多主体による地域活動の基盤づくりを重点的に進めてきた。井土ヶ谷地区については、職員加配やランチ設置の可能性も含めて検討を行ったが、現時点では制度面・財政面での課題や地域全体のニーズの状況を踏まえ、出張相談を軸とした支援体制の継続が現実的であると判断した。一方で、一定のニーズや期待の声も確認されており、UR等の関係機関と連携しながら、常設的な相談拠点の意義について共通認識を醸成する取り組みを進めている。

また、協議体を活用した多世代交流や地域資源づくりにおいては、地域食堂「ハナキンチルドレン」の立ち上げをはじめ、新たなネットワーク形成や地域内での相互支援の広がりが見られた。一方で、各団体の活動内容や目的に違いがあることから、地域に求められる役割とのすり合わせや合意形成が今後の課題であり、協議体を基盤とした情報発信と相互理解の促進が求められている。

地域福祉保健計画や地域ケア会議、学校等との連携を通じて、関係者間の顔の見える関係づくりは着実に進んだが、担い手の高齢化や人材確保の難しさが顕在化している。今後は、ボランティアや地域活動に関心を持つ層への働きかけを強化し、新たな担い手の発掘・育成を進め、活動の継続性を高めていく必要がある。

認知症施策については、チームオレンジ事業の開始に伴い、認知症カフェ等の地域資源と連携しながら、弘明寺商店街との協働による「大岡ほっとスペース」を開催するなど、地域全体で認知症への理解を深める取り組みを進めた。今後は、地域密着型運営推進会議や民生委員等への説明機会を活用し、さらなる周知と理解促進を図っていく。

啓発・相談支援の面では、出張相談や地域サロンを活用し、認知症、成年後見制度、消費者被害、終活等に関する講座を幅広く実施した。二次元コードを活用した申し込み方法の導入により、新たな参加者層の獲得にもつながっており、今後は講座内容や周知方法のさらなる工夫が課題である。

ケアマネジャー支援については、関係機関と連携した研修の企画・実施を計画通り行い、日常的な相談支援と併せて、専門性向上や継続的なケアマネジメントの推進に一定の成果を上げることができた。

孤独死防止に関しては、URコミュニティとの連携を軸に、出張相談や見守り機器補助事業の説明会、住民交流の支援などを通じて、早期発見・早期介入に向けた関係づくりを進めた。今後は、UR以外の大家や管理会社等との関係構築にも取り組み、より広い視点での連携体制の構築を目指していく。

☐ 区からのコメント

・地域食堂「ハナキンチルドレン」の立ち上げを含め、地域食堂3団体との連携など、新しい取り組みを積極的に実施いただきました。エリア内で行われている健康づくり、子育てサロン、高齢者サロンなどの地域資源を把握し、その場に適した後方支援が効果的に実施されています。また、井土ヶ谷エリアについて、職員の加配やランチ設置の検討をいただきありがとうございます。井土ヶ谷エリアの「出張相談」の実施により、気軽に相談できる体制を整えています。引き続き施設から離れたエリアでも相談しやすい環境づくりを行ってください。地域活動への参加等、住民の声に耳を傾ける取組をされています。今後も地域の特徴でもある商店街などの民間企業(組織)や学校等と連携を深めながら、事業を進めてください。

・個別相談・地域支援ともに、地域特性を捉えながら、地域に寄り添う支援を展開されています。認知症施策では、チームオレンジ事業として、認知症カフェ等の地域資源と連携しながら、弘明寺商店街との協働により、「大岡ほっとスペース」を開催し、地域全体で認知症への理解を深める取組が進んでいます。権利擁護事業では、消費者講座や終活講座、司法書士による巡回相談など様々な場において、広く周知・啓発活動を実施するとともに、成年後見制度の利用支援に取り組まれています。引き続き、共有された課題に対し、5職種で連携して支援を展開する体制づくりに取り組んでいただけることを期待します。

令和7年度大岡地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	地域包括支援センター、居宅介護支援事業とも自事業所のサービスや特定の事業所を紹介するなどに偏ることなく、ハートページや介護情報サービスかながわ等を活用し、ご利用者に選択肢を複数提示しながら公正・中立を図る。	個人情報を含む書類等については専用のキャビネットにて一元管理し、責任職がその都度施錠・開錠することで事故防止に努めている。また、区内の事故事例等を職員会議等にて周知し、共有しながら事故防止等に努める。
実績	事業所を相談者・利用契約者等に紹介する際には、必ず、ハートページや複数の事業所の資料を提示して情報提供をした。パソコンや携帯の利用に慣れておられる方には、介護情報サービスかながわ及び、介護サービス情報公表制度の案内をして、主体的に事業所を選んで頂くように努め、公正・中立を図った。	個人情報を含む書類等は専用キャビネットで施錠管理し、開錠は責任職がその都度行うことで、事故防止に努めた。他事業所の事故事例について、所内の諸会議のほか、情報伝達・共有システムも活用して迅速に共有し、継続的に注意喚起を行い、個人情報保護についての職員の意識を高めた。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	適切なアセスメントを行った上でサービスを提供し、介護が重度化しないように努めていく。元気づくりステーションやサロン等のインフォーマルサービスも効果的にプランに組み込んでいくよう留意する。	ご利用者様の意思や人格を尊重し、ご利用者様とともに必要なサービスの導入など支援内容、方法を考えていく。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 特になし	【その他料金】 特になし
職員体制	常勤4人	常勤3人
契約者数	291	97

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	地域の高齢者が住み慣れた場所で継続して暮らしていけるように、ご本人、ご家族の支援、サポートを行っていく。		
実施体制	【実施日数】 7日／週 ※年末年始を除く 【提供時間】 9時10分～16時15分 【定員】 30人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 特になし	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	生活相談員:3人 介護職員 :18人 看護師 :5人		
契約者数等	【延べ利用者数】 6,928人 【契約者数】 116人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「大岡地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,931,308	1,728,160	19,659,468	19,120,312	539,156	横浜市より
内 受領額	17,931,308	1,728,160	19,659,468	19,659,468	0	
内 戻入額				△ 539,156	539,156	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	80,000		80,000	73,000	7,000	
雑入	20,000	0	20,000	0	20,000	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
その他	20,000		20,000		20,000	
その他	2,081,691		2,081,691	2,081,691	0	
収入合計	20,112,999	1,728,160	21,841,159	21,275,003	566,156	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,037,000	0	13,037,000	12,944,299	92,701	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	9,341,000		9,341,000		9,341,000	
内 社会保険料	1,583,000		1,583,000		1,583,000	
内 手当計	1,751,000		1,751,000		1,751,000	
内 健康診断費	30,000		30,000		30,000	
内 勤労者福祉共済掛金	49,000		49,000		49,000	
内 退職給付引当金繰入額	140,000		140,000		140,000	
その他	143,000		143,000	12,944,299	△ 12,801,299	
事務費	1,556,000	0	1,556,000	1,049,602	506,398	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	20,000		20,000	22,119	△ 2,119	
内 消耗品費	120,000		120,000	147,932	△ 27,932	
内 会議随い費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	0		0	7,400	△ 7,400	
内 通信費	220,000		220,000	247,359	△ 27,359	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
内 内 其他	0		0	0	0	
内 備品購入費	120,000		120,000	0	120,000	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	5,000		5,000	31,874	△ 26,874	
内 職員等研修費	30,000		30,000	9,822	20,178	
内 振込手数料	5,000		5,000	16,324	△ 11,324	
内 リース料	36,000		36,000	4,125	31,875	
内 手数料	0		0	0	0	
内 地域協力費	0		0	38,500	△ 38,500	
内 公租公課	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	法人本部経費は含まれていない
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
内 印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	524,147	△ 524,147	
事業費	246,000	0	246,000	537,577	△ 291,577	法人本部経費は含まれていない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	246,000		246,000	537,577	△ 291,577	
内 其他	0		0		0	
管理費	3,391,000	0	3,391,000	4,930,701	△ 1,539,701	法人本部経費は含まれていない
内 光熱水費	2,743,000		2,743,000		2,743,000	
内 清掃費	264,000		264,000		264,000	
内 機械整備費	53,000		53,000		53,000	
内 設備保全費	261,000	0	261,000	0	261,000	
内 空調衛生設備保守	56,000		56,000		56,000	
内 消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
内 電気設備保守	25,000		25,000		25,000	
内 害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 其他保全費	150,000		150,000		150,000	
内 共益費	70,000		70,000		70,000	
その他	0		0	4,930,701	△ 4,930,701	
修繕費	474,000		474,000	1,453,683	△ 979,683	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	0	0		0	法人本部経費は含まれていない
内			0		0	
支出合計	18,704,000	0	18,704,000	20,915,862	△ 2,211,862	
差引	1,408,999	1,728,160	3,137,159	359,141	2,778,018	

自主事業費 収入	80,000	0	80,000	73,000	7,000	
自主事業費 支出	246,000	0	246,000	537,577	△ 291,577	
自主事業 収支	△ 166,000	0	△ 166,000	△ 464,577	298,577	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「大岡地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	31,433,824	1,125,805	32,559,629	32,366,598	193,031	横浜市より
内 受領額	31,433,824	1,125,805	32,559,629	32,559,629	0	
内 戻入額				△ 193,031	193,031	
指定管理料【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000	30,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,189,111	6,415,985	12,605,096	6,415,985	6,189,111	横浜市より
内 受領額	6,189,111	228,874	6,415,985	6,415,985	0	
内 戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代	0		0	0	0	
内 自動販売機手数料	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
その他	0		0		0	
収入合計	37,802,935	7,541,790	45,344,725	38,962,583	6,382,142	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,224,000	0	34,224,000	34,558,062	△ 334,062	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	17,416,000		17,416,000		17,416,000	
内 社会保険料	5,098,000		5,098,000		5,098,000	
内 手当計	10,679,000		10,679,000		10,679,000	
内 健康診断費	39,000		39,000		39,000	
内 勤労者福祉共済掛金	45,000		45,000		45,000	ハマふれんど
内 退職給付引当金繰入額	837,000		837,000		837,000	
内 その他	110,000		110,000	34,558,062	△ 34,448,062	
事務費	982,000	0	982,000	1,943,457	△ 961,457	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	30,000		30,000	52,413	△ 22,413	
内 消耗品費	120,000		120,000	172,496	△ 52,496	
内 会議滞在費	0		0	0	0	
内 印刷製本費	0		0	15,286	△ 15,286	
内 通信費	266,000		266,000	274,895	△ 8,895	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 備品購入費	0		0	0	0	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	0		0	8,473	△ 8,473	
内 職員等研修費	10,000		10,000	6,324	3,676	
内 振込手数料	4,000		4,000	22,776	△ 18,776	
内 リース料	547,000		547,000	4,125	542,875	
内 手数料	0		0	0	0	
内 地域協力費	0		0	0	0	
内 公租公課	5,000	0	5,000	0	5,000	
内 事業所税			0		0	
内 消費税	5,000		5,000		5,000	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他			0	1,386,669	△ 1,386,669	
事業費	910,000	0	910,000	701,508	208,492	法人本部経費は含まれていない
内 協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	18,332	31,668	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000	20,914	9,086	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000	29,262	20,738	
内 その他			0		0	
管理費	929,000	0	929,000	953,570	△ 24,570	
内 光熱水費	729,000		729,000		729,000	法人本部経費は含まれていない
内 清掃費	70,000		70,000		70,000	
内 機械警備費	14,000		14,000		14,000	
内 設備保全費	87,000	0	87,000	0	87,000	
内 空調衛生設備保守	15,000		15,000		15,000	
内 消防設備保守	5,000		5,000		5,000	
内 電気設備保守	6,000		6,000		6,000	
内 害虫駆除清掃保守	21,000		21,000		21,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	40,000		40,000		40,000	
内 共益費	17,000		17,000		17,000	
内 その他	12,000		12,000	953,570	△ 941,570	
修繕費	126,000		126,000	79,969	46,031	法人本部経費は含まれていない
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていない
支出合計	37,171,000	0	37,171,000	38,236,568	△ 1,065,568	
差引	631,935	7,541,790	8,173,725	726,017	7,447,708	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	280,000	0	280,000	218,508	61,492
自主事業 収支	△ 280,000	0	△ 280,000	△ 218,508	△ 61,492

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名:大岡地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,742	6,637	105	9,761	9,988	-227	21,040	22,598	-1,558	75,200	65,202	9,998	2,720	2,723	-3
	その他	0	0	0	0	0	0	40	57	-17	14,829	13,446	1,383	1,200	1,200	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	要介護認定調査委託料			0			0	10	22	-12			0			0
	利用者負担金収入			0			0			0	8,230	6,422	1,808	700	700	0
	食費収入			0			0			0	5,450	4,635	815	500	500	0
	指定管理料収入			0			0			0	0	1,152	-1,152			0
	その他			0			0	30	35	-5	1,149	1,237	-88			0
	収入合計(A)	6,742	6,637	105	9,761	9,988	-227	21,080	22,655	-1,575	90,029	78,648	11,381	3,920	3,923	-3
支出	人件費			0			0	17,987	17,989	-2	68,197	68,661	-464	5,500	5,500	0
	事務費			0			0	2,913	2,079	834	7,062	8,417	-1,355			0
	事業費			0			0			0	5,620	7,216	-1,596			0
	管理費			0			0			0	5,730	4,756	974			0
	その他	5,938	5,799	139	8,274	8,208	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	5,938	5,799	139	8,274	8,208	66			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	5,938	5,799	139	8,274	8,208	66	20,900	20,068	832	86,609	89,050	-2,441	5,500	5,500	0
収支 (A)-(B)		804	838	-34	1,487	1,780	-293	180	2,587	-2,407	3,420	-10,402	13,822	-1,580	-1,577	-3

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることを		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）		ねらいとした事業		7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	月曜サロン1！2！4！	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	口腔体操・健康体操・茶話会・ボランティア協力によるレクリエーションなど実施し、要介護にならない程度の高齢者が引きこもらず継続的に集い、頭と体を活性化させ、楽しく元気に生活を送る。	1:高齢者	2,4,5	毎月第1,2,4月曜日13:00～14:00 体操やおしゃべり、歌唱、脳トレを実施している。地域の方がボランティアを担っている。	31	0	823	0
2	男性体操教室	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	引きこもりがちな高齢の男性を対象とし、介護予防体操を実施する。 また、参加者同士のコミュニティを形成すること。 男女問わず募集をすると、女性の方が集まりやすいため、男性に限定する。	1:高齢者	1	毎月第1,3金曜日10:00～11:30 介護予防体操を実施し、プログラムの中で、参加者同士が話をする機会を確保している。	23	0	115	0
3	マタニティヨガ教室	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	妊婦が安心して出産に臨むことが出来るように、現役助産師から安産のコツを伝える。 また、参加者同士で悩みを共有し交流の機会をもってもらう。	7:その他	3	年間3クール実施 1クール5回 第1,3木曜日10:00～11:00 現役助産師が講師となり、安産のコツを伝える。	15	2	84	2
4	フードドライブ	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	SDGsについて関心が高まり、フードロス削減と、大岡健康プラザと大岡地域ケアプラザの周知が目的。 寄付先再検討中。	5:地域	3	大岡健康プラザの入り口付近に回収BOXを常設し、月1回福祉団体へ寄付をする。	12	0	264	0
5	Xmasにサンタがやって来る	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	Xmasにサンタが現れ、大岡健康プラザの利用者との交流を行う。 大岡健康プラザが地域に身近な施設であることを周知する。	4:子ども・青少年	1,3	大岡健康プラザ内をサンタがお菓子を配り歩く。 12月のXmas前に実施する。	1	0	450	0
6	足の健康フェスタ	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	健康には「足」がポイントになってくる。大岡健康プラザとして、地域の方の健康維持のために、3館で取り組んでいく。 大岡健康プラザ3館の連携強化。	5:地域	1	3月頃に開催する。 大岡健康プラザ内で足に関する講演と測定や体操などを行う。	1	0	134	0
7	協議体	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域高齢者が地域で長く生活できるよう、地域住民や関係機関とのネットワークの構築。	1:高齢者	1	地域課題を、住民、関係機関と共有し、解決に向けて検討の場を持つ。	5	0	26	0
8	生活レベルアップ講座	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者の生活や健康に役立つテーマで講座を実施。 民生委員、友愛、保健活動推進員の研修も兼ねている。	1:高齢者	1	本大岡地区三団体協議会と共催。 日頃の情報交換より地域課題を捉えテーマを設定している。三団体に属する方は地域に伝えられるように、地域高齢者は自身の生活に役立てるように実施する。	1	0	30	0
9	井土ヶ谷カレッジ	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	実際に地域で取り組み、実践できる内容の講座等を実施して、地域を支える住民の力の底上げを行う。	5:地域	5	井土ヶ谷地区社協と共催。 認知症や介護予防等に限らず、幅広いテーマで地域住民の相互理解や支え合いにつなげていく。	0	0	0	0
10	ニコニコウォーク	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域を歩くことで済んでいる町を深く知ることができる。 外出のきっかけや健康促進につなげる。	5:地域	5	本大岡地区社協と共催。 商店街や施設の協力をいただき、ウォーキングをしながら「文字集め」を行う。	1	0	110	0
11	生活支援ミニ講座	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	季節や情勢に合わせたミニ講座を実施。 適切な情報提供をし、テーマに合わせた普及啓発を行う。	1:高齢者	5	地域活動に出向き情報提供・ミニ講座を実施。	2	0	30	0
12	ポッチャ交流会	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ポッチャを通じて住民同士の交流と障害理解をすすめる。	5:地域	2	地区社会福祉協議会、地域活動支援センターと共催。 障害のある、なし関係なく、年代も超えて楽しめるポッチャを年間を通じて実施する。	2	0	77	0
13	介護者サロン だんごの会	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主に認知症高齢者の介護をする家族のための自由懇談会。安心して日ごろの思いを話したり、互いの経験を聞くことができる場をつくることで、介護者の精神的な負担を軽減し、虐待予防にもつなげる。 ＊令和7年6月から、会場とZOOMIによるハイブリッド開催	7:その他	1	毎月第4水曜日 10:00～12:00 介護を卒業した方が、参加者の聞き手役をしている。専門的な相談対応が必要な場合には別途職員が対応することとし、当事者同士が自由に話せることを重視している。	12	11	8	0
14	井土ヶ谷地区 出張相談	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	CPから遠い井土ヶ谷地区の住民に日常生活課題等について相談しやすい環境を定期的に作ることで、課題のある高齢者の早期発見、早期課題解決につなげる。	1:高齢者	1	毎月3回、第1火曜日、第2火曜日、第3水曜日の13:30～15:30に、それぞれ、東団地、上一町内会館、ヴェレーナ地域交流室にて、出張相談会を実施する。その中で、随時、他機関と連携したイベントも開催する。	37	0	113	0
15	URコミュニティ×ケアプラザ 住民交流会	令和7年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	団地の高齢化が進み、交流の場が求められている。住民には外国籍の方やこども、大人、障がい者、様々な方がいる。住民交流の場を創出して、ゆるやかな「支えあい・見守り」につなげていく。	5:地域	5	UR東団地の集会所を拠点に住民が気軽に集まれる企画を実施する。	2	0	22	0